

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 15 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長	平井 あかね
こども-16 児童福祉運営事業		■ 自治事務	主管課	こども相談課
		■ 法定受託事務	関連課	こどもみらい課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。(育児家事援助及び要保護児童対策地域協議会はH27から養育支援訪問等事業へ) 相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。 寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	12,861	12,878	当初予算(千円)	15,103			
	国県支出金	4,427		国県支出金	1,878			
	地方債			地方債				
	その他	100	2,930	その他	5,118			
	一般財源	8,334	9,948	一般財源	8,107			
事業経費運営	人員配置数	1.5	1.3	人員配置数	1.3			
	人件費(千円)	11,389	10,479	人件費(千円)	10,299			
	総事業費(千円)	24,250	23,357	総事業費(千円)	25,402			
	市民1人当りの経費(円)	137	132	市民1人当りの経費(円)	144			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-9. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	こどもと家庭の相談室に寄せられた相談等に適切に対応することにより、児童虐待の予防及び早期発見に努めるとともに、子育てにストレスを抱えている保護者を支援する講座等を継続的に実施し、児童虐待が起りにくい環境を整備していく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	こどもと家庭の相談室に寄せられる相談件数にかかわらず、児童虐待が起りにくい環境を整えていくため、相談の質、体制をより充実しながら、今後も事業を継続していく。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	こどもと家庭の相談室の相談員(非常勤嘱託員)は平成26年度5人体制で、1人あたりの勤務日数が月10日または11日であったため、児童虐待通告・相談の受理、関係機関等との連絡・調整にタイムラグが発生し支障をきたすことが多く、2名の正規職員が対応せざるを得ない状況であった。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	平成27年度からこどもと家庭の相談室の相談員(非常勤嘱託員)を5人体制から4人体制とし、1人あたりの勤務日数を月13日または14日とした。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	こどもと家庭の相談室に寄せられる相談内容は多種多様であり、児童虐待に関しても複数の要因が複雑に絡み合っている事例が多くなっていることから、対応する職員はより高度で専門的な資質が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	虐待相談件数							
団体名	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				
他市実績	164件	96件	13件	24件				
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	こどもと家庭の相談室の相談件数						単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
児童虐待相談体制の充実を図るため	目標値	400	400	400	400	400	400				
	実績値	380	434								
	達成率	95.0%	108.5%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--